



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.6.23 No. 4400

動労千葉発、全国へ！ 夏季物販をやりぬこう！

夏季物販の取り組みが山場です。月末にかけては、毎日二〇名もの組合員が、北海道から九州まで、全国各地に、大車輪でオルグに出かけています。すでに注文は続々と寄せられ始めています。
新小岩支部OBの細田さんから、次のような激励の手紙が添えられて注文用紙が届きました。

不当配転をはじめ差別・選別攻撃の激化、身につまされる思いです……。
日夜分かつたずの奮闘に心から賛同と更なるご支援とご声援を送りたいと思います。
些少では御座いますが、宜しくお願い申し上げます。

動労千葉は、国鉄闘争の正念場にあたって、組織攻防戦にかちぬくストライキ体制を確立するとともに、永い間闘いを支えて下さった全国の仲間、さらなる支援体制拡大の要請を行いました。物販オルグの派遣要請もこれまでになりに件数に登っています。六、七月には、全国各地で国鉄集会を呼びかけ、開催する準備も進んでいます。「動労千葉を支援する会」を各地に組織する取り組みも開始しました。大変な取り組みです。しかし、全国・県内のオルグ、そして組織内の目標達成に向け全力でやりぬこう！万全の態勢を整え、国鉄闘争の正念場に勝利しよう！

夏季輸送に向け、 要員配置を！

要員操配せず に夏季輸送！

五月十六日、千葉支社は、夏季輸送の臨時列車設定について提案提案を行なってきた。増発列車の運転本数は五五五本、昨年より十五本の減という内容だが、「夏季輸送については助勤操配等は行なわず、現在の要員配置で対応し、夏季輸送終了後に要員操配を行なう」としている。何故、業務量が最も張る夏季輸送前に要員操配を行なわないのか？

ちなみに、現在の要員配置数は、近々に予定されている運転士見習の士職発令がされた時点で、習志野運輸区と京葉運輸区が、標準数に対してプラス二、一三名、千葉運輸区がプラス三名、外周区が各々プラス一名という状況である。千葉支社は、未だ夏季臨時列車の担当区等具体的な内容は明らかにしてないが、対応区が、千葉運輸区と京葉運輸区になるのは間違いない。夏季輸送に全く関係ない習志野運輸区にかなりの余裕をもち、千葉転は要員ギリギリに近い状況で夏季輸送を強行しようとする。

この間、千葉運輸区は、千葉支社の極めて意図的な、労務政策優先の要員運用によって、慢性的な欠員状態におかれ続けてきた。この間も、三月のダイ改「時短」に当たって操配された者の訓練が終わりプラス一になるかと思つたら、木更津支区での不当労働行為・脱退工作の煽りを受けて一名が木更津に出勤し出されゼロである。

全てが労務政策

要するに、習志野や京葉など、JR東労組が多数を占める職場には常時要員の余裕を持たせる一方、動労千葉の運輸士が多数の職場は絶対に余裕を持たせず、業務が回らなければ年休を抑制し、休勤を強制すればいいという労務政策によって、こんな不当な要員配置がずっと続いていくというのだ。

しかもこの間、要員操配にかためて、動労千葉や国労の組織破壊を行なうというやり方がずつととられてきた。こんなやり方は絶対に認められない！われわれは、やり方如何によつては、ストライキをも辞さぬ構えで闘う決意である。

全て疑問だらけ

三月ダイ改「時短」後の要員操配自体も全く不透明なものだ。千葉転には、京葉から三名、習志野から一名の助勤操配が行なわれたが、欠員状態にもかかわらず、何故これが転勤ではなく助勤なのか、助勤ならばいつまでの助勤なのか、何故夏季輸送を前にした要員操配にも係わらず、この時点でそれを想定して平等な要員配置が行なわれぬのか、何故要員操配は夏季輸送後まで先延ばしするのか、こうした当然の疑問は、いくら質しても、一切回答は返ってこないのだ。

動労千葉は、五月二〇日、夏季輸送の要員操配について、緊急申し入れを行なった。千葉支社は、直ちに夏季輸送に向けて、要員操配を行なえ！

